

デジタル技術の活用及びDX推進の取組状況

A) 経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性の決定

a) デジタル技術が社会や当社の競争環境にどのような影響を及ぼすか

デジタル技術の進歩は著しく、パソコン、スマートフォン、インターネットは現在、生活や事業活動において不可欠なツールとなっています。今後もデジタル技術の進展は続き、当社にとってさらに重要なインフラ・経営資源になる事が予想されます。このような社会状況の中で、当社の事業を成長・発展させ、お客様に貢献するためには、デジタル技術の活用による生産性の向上とお客様の利便性の向上が不可欠であると認識しています。

b) 上記を踏まえた経営ビジョンやビジネスモデルの策定

XX 堅牢なセキュリティ体制の整備を前提として、お客様情報や事務管理の全てをデジタル化し、迅速かつ正確なサービスを提供できる体制を構築します。これにより、お客様の利便性と満足度の向上、並びに当社の生産性の向上を実現し、末永くお客様との信頼関係を築き上げる企業を目指します。

B) 経営ビジョンやビジネスモデルの実現のための戦略

今後も当社が成長を続けるためには、デジタル技術を活用した新しいサービスやビジネスモデルの開発が必要です。具体的には、人工知能やビッグデータ解析などの最新技術を活用し、機能拡張や新規サービスの開発に注力していく予定です。

C) 戦略を推進するための実施体制

上記の戦略を達成するために、代表取締役の安達 教顕が CIO（最高情報責任者）および CISO（最高セキュリティ責任者）の役職を兼務します。安達 教顕の指揮のもと、サービス開発チームと外部のシステム開発会社との協力を通じて、戦略を効率的に推進し、システムの開発を進めます。

IRIS データラボ株式会社
代表取締役 安達 教顕